

# 景気動向調査 令和6年2月分（令和6年2月末現在）

大分県中小企業団体中央会では、県内中小企業の現況、課題を迅速にとらえ、これらの情報を行政等へ提供するとともに、本会事業の活用に資することを目的に、中小企業団体情報連絡員事業を実施しています。

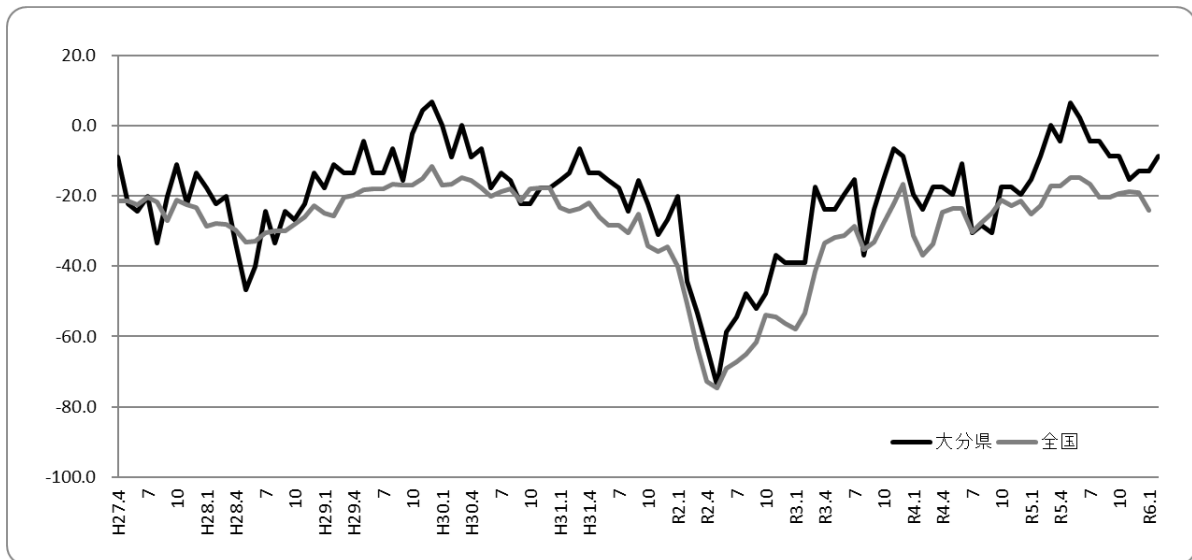
この事業では、県内の主要業種46組合に「情報連絡員」を設置し、毎月の景況調査報告(前年同月比)を収集しています。

## 【2月の景況】

2月のDIは、9指標のうち、3指標が好転、5指標が悪化、1指標が変わらずという結果となった。

主要3指標をみると、先月と比較して、売上高DIは20ポイント減少しており、収益状況DIは13ポイント悪化、景況感DIは4.3ポイント好転という状況となっている。

売上高DI、取引条件DI、収益状況DIがともに10ポイント以上後退。景況感はやや好転しているものの、思うように取引条件の改善や売上高伸張が図れず、収益状況が悪化している様子が見える。



景況感 DI 値

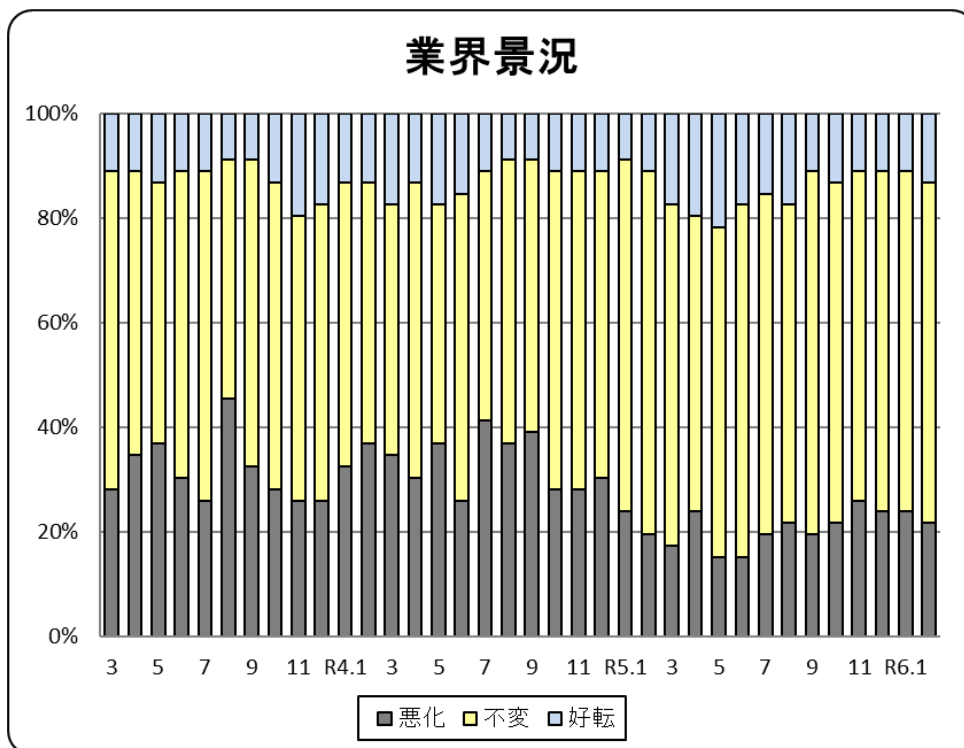


参考：日本銀行「企業短期経済観測調査」（大分支店調査分）

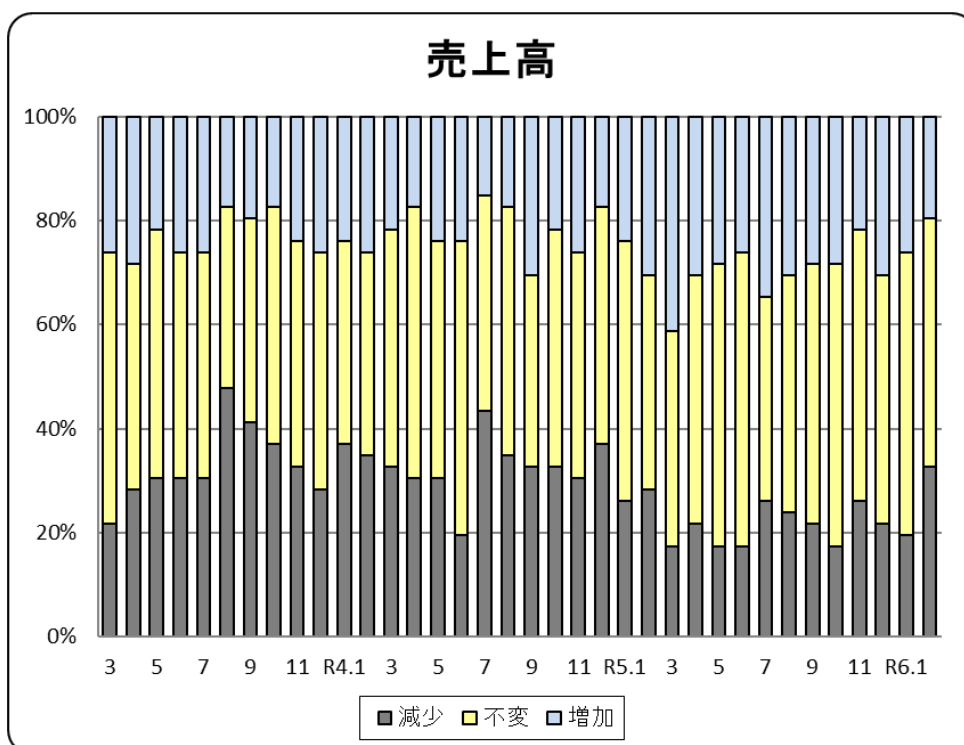
## 【主な調査項目での動向】

主要な調査項目を見ていくと、景況感 DI は、 $\Delta 8.7$ ポイントで前月から4.3ポイント好転。売上高DI値は、 $\Delta 13$ ポイントで前月より20ポイント減少。収益状況DI値は、 $\Delta 20$ ポイントで前月から13ポイント悪化。雇用人員DI値は、 $\Delta 13$ ポイントで前月から2ポイント増加という結果となった。

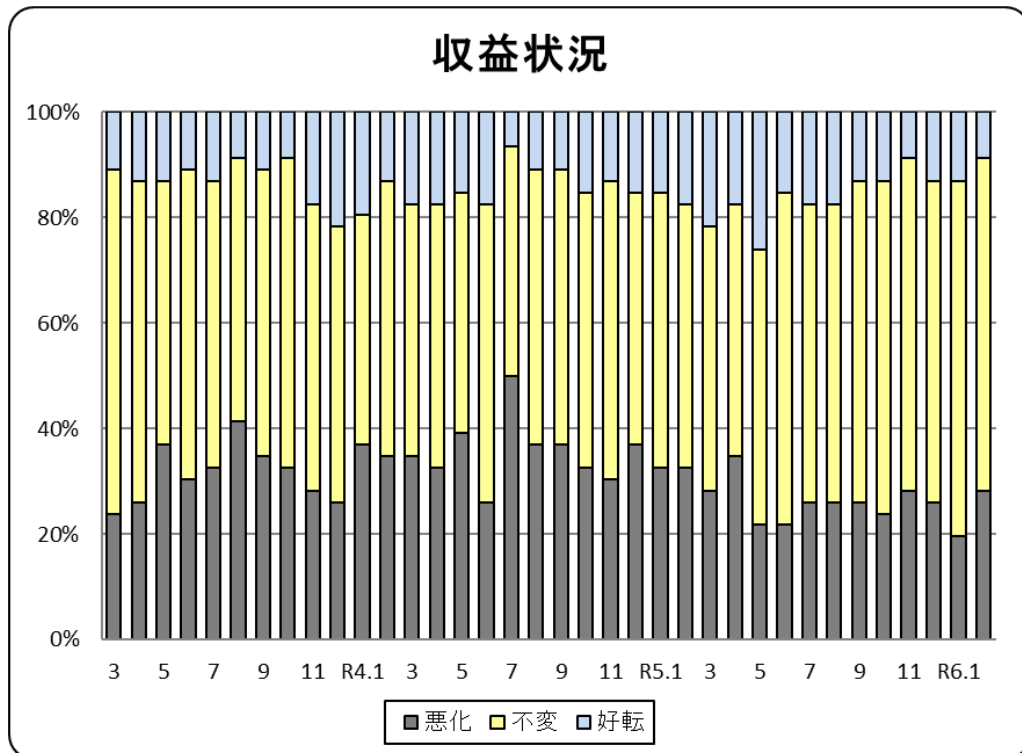
**景況の動向**は、好転は6組合、悪化は10組合であった。DI値は $\Delta 8.7$ ポイントで前月から4.3ポイント好転。割合で見ると、好転13%、不変65%、悪化22%であった。なお、製造業の景況感 DI 値は $\pm 0$ ポイント、非製造業の景況感 DI 値は $\Delta 14$ ポイントであった。



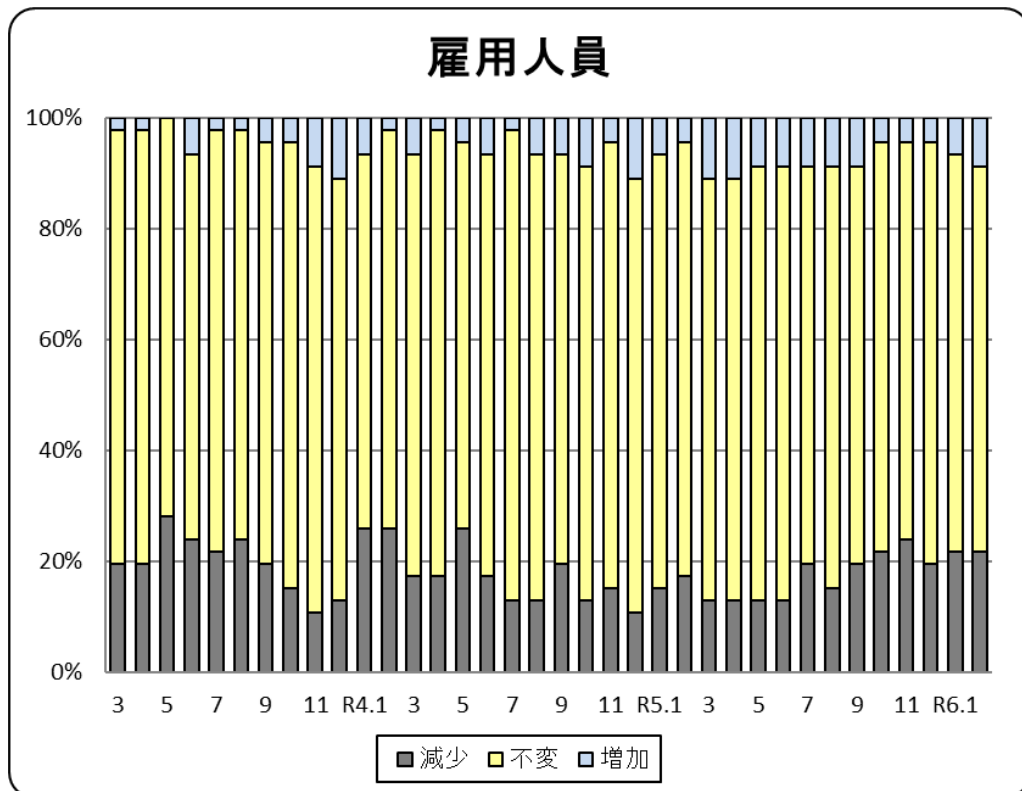
**売上高の動向**は、増加は9組合、減少は15組合であり、DI値は $\Delta 13$ ポイントで前月から20ポイント減少。割合で見ると、増加19%、不変48%、減少33%であった。



**収益状況の動向**は、好転した組合は4組合、悪化と回答した組合は13組合であった。DI値は△20ポイントで前月から13ポイント悪化。割合で見ると、好転9%、不変63%、悪化28%であった。



**雇用人員の動向**は、増加は4組合、減少は10組合であった。DI値は△13ポイントと先月から2ポイント増加。割合で見ると、増加9%、不変69%、減少22%であった。なお、製造業の雇用人員 DI 値は△2ポイント、非製造業の雇用人員 DI 値は△17ポイントであった。



(集計方法)

※DI 値(前年同月比)=[(増加・好転組合数-減少・悪化組合数)÷調査対象組合]×100

(業界の景況についての項目を「好転」割合から「悪化」割合を引いた値をもとに作成します。)

※小数点以下四捨五入

### 主要3指標の前年同月比DI推移【大分県】

